

令和6年度 延岡市立川島小学校 学校評価書

	評 価 項 目	評定	学校の自己評価	学校関係者評価
			学校の自己評価コメント	学校評価関係者のコメント
やる気	1 学習のきまり（態度や姿勢、発表など）	B 3.1	○ 月目標は、「学習中のルールを守ろう」であったため、学習中以外ではきまりはどうなっているのか、曖昧であった。	○ 授業参観や行事に参加した際、子ども達の取り組む態度は真剣であった。各自が生き生きと発表している。
	2 家庭学習（自学や宿題、読み声など）		○ タブレットが一人1台割り当てられているので、十分使いやすい環境にある。	○ 授業参観すると、どの学年も熱心に授業に取り組んでいる姿に感心しました。タブレットも上手に使いこなしていました。
	3 進んで読書		○ 読書ビンゴや読み聞かせのイベントを行うことにより、読書量が増えた実績がある。次年度も取り組んでいきたい。	○ タブレット以外の学習も充実させるとよい。
心が元気	4 礼儀（あいさつや返事、言葉遣い）	A 3.3	○ 読書による選書会を実施し、児童の興味・関心を高めることができた。	○ 学習中以外のルール（きまり）は人として基本的なことや習慣であると思うので、家庭での教育が大事。
	5 思いやりのある優しい態度		○ 蔵書の充実や図書室の環境整備をさらに図り、地域の方による読み聞かせ、ブックトーク等、読書に親しむ機会を増やしたい。	○ 家庭学習は中学校では基本的に課題・宅習がありません。東海中では「自分で考えて学習を」と2年前から方針が変わりました。高学年からは少しずつ先生が手を離していく方が良いかもしれませんね。
こん気	6 感染症予防（うがいや手洗い）	A 3.2	○ あいさつの仕方は年度当初に全校で共通理解を図った。（目を見て 大きな声で 笑顔で）	○ 図書室の本を充実させて、どんどん利用してもらえると良いです。地域の方との交流として読み聞かせなど取り入れるといいかもしれませんね。
	7 体力向上（外遊び、持久走や縄跳び）		○ 「ふわふわことばボックス」を設置し、内容を掲示したり、放送したりすることで、相手を思いやる心をもとうとする意識は高まった。	○ 読み聞かせ、イベント等を工夫継続し、読書量増につなげていくとよい。
	8 生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯など）		○ 感染状況に応じて、保健便りや学級通信を通じて情報発信をしたり、感染症予防の指導を行ったりし、感染拡大を防ぐことができた。	○ あいさつについてはしっかり出来ている。どこで会っても大きな声で元気にあいさつしてくれる。
	9 メディアコントロール（ゲームやテレビのルール）		○ 体力向上に向けて持久走や縄跳び月間を設定した。児童はとても意欲的に取り組んでいた。	○ 川島小の子ども達はいつも元気にあいさつをしてくれます。
	10 安全意識（交通ルール）		○ 学期2回（長期休業明け）にからだいきき週間を実施し、生活習慣を振り返ることができた。	○ 誰とでも仲良く、自転車、縄跳びなどで遊んでいる。
学校運営全般	11 命を守るための知識・行動	A 3.4	○ 「ノーメディアデー」の回数を増やし、生活習慣の定着、メディアコントロールをする意識をさらに高めたい。また、ICT 支援員、養護教諭、医療関係者等と連携し、情報モラル学習と健康教育の連携を図っていくようにする。	○ 朝も外遊びに進んで出る子が多く、体力アップになっていると思います。
	12 人間関係（いじめなどせず、仲良く生活）		○ 安全マップ作り、交通安全教室、危険個所を地区ごとで分かれて確認し、事故に遭わない方法を考えることができた。	○ 体力向上に向けて、持久走又は駅伝大会（川島堤防周辺）を実施してはどうか。
	13 地域への愛着（自然や文化、地域の人々など）		○ 風水害、地震・津波2回、不審者、Jアラート等、様々な避難訓練を行い、児童の安全意識を高めることができた。また、実施にあたっては、想定を工夫し、より実践的な内容とすることができた。	○ 地域でのスポーツクラブ等への積極的な参加を勧めたい。
	14 情報発信（ホームページや学校だより、学級通信など）		○ 「スムーズ・スタートの日」を実施し、円滑な学期スタートを切ることができた。	○ 持久走・縄跳び月間の取組は今後も継続してほしい。
	15 地域との連携・協力（「知・徳・体」全部の面で）		○ 教育相談を毎月行い、問題解決に取り組んだ。また、教育相談をもとにカウンセリング委員会を実施し、児童の実態や対応について、職員間で共有することができた。	○ 親子で約束を交わした時間で行動している。
家庭・地域	16 家庭のしつけ（交通ルールや社会のきまりなど）	B 3.1	○ ホームページで学校の様子を積極的に伝えることができた。	○ スマホを持つ子も増えているので、きちんとネットとの付き合い方を学ぶ機会をもつことは大事だと思います。「メディアコントロールをなぜするのか」を子ども自身がきちんと理解して取り組めると良いと思います。
	17 保護者と学校の協力、（学力向上のため）		○ 通学路点検を実施し、地域の方と危険個所について情報を共有できた。	○ 交通ルールはしっかり守って活動している。
	18 保護者と、地域（区）との協力		○ 学校運営協議会での協議をもとに、表現集会やもちつき大会などで、多くの地域の方に参加していただき、交流を深めることができた。	○ 高齢のご夫婦の車の前に飛び出した児童を見かけたことがある。一礼はしていたが素早く立ち去り、注意ができなかった。
	19 地域との連携協力（健全育成のため）			○ 公道をスケボーで移動する子がいた。地域でもっと声かけしていきたい。
食育	20 学校給食献立の効果	A 3.3	○ 家庭での食育支援のため献立表、食育だよりを月1回配付している。給食参観や試食会等を検討し、さらに進めていけるとよい。	○ 過去の事例等を学ばせて日頃より安全意識を高めるとよい。
	21 食育の推進（食育だより等の配付資料や食育の授業）			○ 言葉遣いが気になる児童がいる。幼児教育から気をつけていきたい。

評定…A：よくできている・よい、B：できている・まあまあよい、C：あまりできていない・あまりよくない、D：できていない・よくない